

令和6年度 シラバス

()

学年	教科	科目	単位数	担当教員	展開	使用教科書	国語表現(大修館)						
2	国語	国語表現	2	村田有紀	必修・選択	副教材名	国語表現 基礎練習ノート/国語便覧						
科目の目標		①実社会で活用できる表現の力を手に入れるための基礎的知識を身につける。 ②「とまえ学」や「総合的な探究の時間」と連携し、分析・総合する力を身につける。											
学習の内容と進め方		①基礎・基本事項である、「発音・発声」「表記のルール」「類義語・対義語」「文の組み立て・つなぎ方」「文章の構成」等を丁寧に扱えるよう、プリントを用いた作業学習を中心に進める。 ②1年次の「現代の国語」で行ったフィールドワーク後の処理を確認しながら学習を進める。											
学習の留意点		しっかりと聞き取ることを前提に、話す・書くの場面に応じて言葉を適切に使い、自分以外の他人にしっかりと伝えるという意志を持って学ぶ。											
評価の観点	知識・技能	国語の特質を理解し、適切に使っている。											
	思考・判断・表現	各領域において、他者との関わりの中で伝え合う力を高めている。											
	主体的に取り組む態度	「学習の留意点」に沿って、積極的に作業に参加し、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使って伝える姿勢で取り組んでいる。											
評価規準	知識・技能	A	Bを上回る状況を達成している。										
		B	場面に応じた適切な表現や言葉遣いについて理解し、適切な表現で伝えている。										
		C	Bの状況に達成していない段階である。										
	思考・判断・表現	A	Bを上回る状況を達成している。										
		B	「話すこと・聞くこと」において、相手の主張を理解し、自分の意見や思いを伝えている。「書くこと」において、場面や相手に応じた分かりやすい文章で表現している。「読むこと」において、文章の意図を適切に読み取っている。										
		C	Bの状況に達成していない段階である。										
	主体的に取り組む態度	A	Bを上回る状況を達成している。										
		B	伝えようという意図を持って自分の思いをまとめようとし、適切な表現を選択しようとしている。										
		C	Bの状況に達成していない段階である。										
学期	月	予定時数	単元	具体的な学習内容	評価の観点			評価方法等					
					知	思	主						
一 学 期	4	16	1 言葉と出会う	<ul style="list-style-type: none"> 場面や目的に応じた適切な言葉遣いを理解する。 適切な表記を理解する。 書き言葉の役割や特徴を知る。 相手に応じた言葉遣いを意識する。 接続詞を適切に用いて文をつなぐ。 	○	○	○						
		0											
		0											
		0											
		0											
		0											
	5	0	2 伝える、伝え合う 5 メディアを駆使する 表現を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> 聞き取る姿勢を身につける。 聞き取って得られた情報をメモ化する。 メモ化された情報を再整理する。 目的に応じた表現や言葉遣いを理解する。 伝えたいことが伝わる表現技法を理解する。 情報を相互に関係づけて考える。 根拠の妥当性について理解する。 	○	○	○						
		0											
		0											
		0											
		0											
		0											
6	12	2 伝える、伝え合う 5 メディアを駆使する 表現を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> 聞き取る姿勢を身につける。 聞き取って得られた情報をメモ化する。 メモ化された情報を再整理する。 目的に応じた表現や言葉遣いを理解する。 伝えたいことが伝わる表現技法を理解する。 情報を相互に関係づけて考える。 根拠の妥当性について理解する。 	○	○	○							
	0												
	0												
	0												
	0												
	0												
7	0	2 伝える、伝え合う 5 メディアを駆使する 表現を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> 聞き取る姿勢を身につける。 聞き取って得られた情報をメモ化する。 メモ化された情報を再整理する。 目的に応じた表現や言葉遣いを理解する。 伝えたいことが伝わる表現技法を理解する。 情報を相互に関係づけて考える。 根拠の妥当性について理解する。 	○	○	○							
	0												
	0												
	0												
	0												
	0												
小計	28												
二 学 期	8	30	※「オロロンデザインI」との連携	<ul style="list-style-type: none"> 説明の仕方や表現を工夫する。 決められたテーマに沿ってプレゼンテーションをする。 伝えるための言葉、伝えるための表現を選ぶ 	○	○	○						
		0											
		0											
		0											
		0											
		0											
	9	0	※「総合的な探究の時間」との連携	<ul style="list-style-type: none"> 説明の仕方や表現を工夫する。 決められたテーマに沿ってプレゼンテーションをする。 伝えるための言葉、伝えるための表現を選ぶ 	○	○	○						
		0											
		0											
		0											
		0											
		0											
10	0	※「総合的な探究の時間」との連携	<ul style="list-style-type: none"> 説明の仕方や表現を工夫する。 決められたテーマに沿ってプレゼンテーションをする。 伝えるための言葉、伝えるための表現を選ぶ 	○	○	○							
	0												
	0												
	0												
	0												
	0												
11	0	※「総合的な探究の時間」との連携	<ul style="list-style-type: none"> 説明の仕方や表現を工夫する。 決められたテーマに沿ってプレゼンテーションをする。 伝えるための言葉、伝えるための表現を選ぶ 	○	○	○							
	0												
	0												
	0												
	0												
	0												
12	0	※「総合的な探究の時間」との連携	<ul style="list-style-type: none"> 説明の仕方や表現を工夫する。 決められたテーマに沿ってプレゼンテーションをする。 伝えるための言葉、伝えるための表現を選ぶ 	○	○	○							
	0												
	0												
	0												
	0												
	0												
小計	30												
三 学 期	1	12	6 会話・議論・発表	<ul style="list-style-type: none"> 話すことによって伝えられる情報について知る。 聞き手に届く話し方を工夫する。 話す内容を整理し、情報をまとめる。 3分スピーチに挑戦する。 	○	○	○						
		0											
		0											
	2	0							6 会話・議論・発表	<ul style="list-style-type: none"> 話すことによって伝えられる情報について知る。 聞き手に届く話し方を工夫する。 話す内容を整理し、情報をまとめる。 3分スピーチに挑戦する。 	○	○	○
		0											
		0											
3	0	6 会話・議論・発表	<ul style="list-style-type: none"> 話すことによって伝えられる情報について知る。 聞き手に届く話し方を工夫する。 話す内容を整理し、情報をまとめる。 3分スピーチに挑戦する。 	○	○	○							
	0												
	0												
小計	12												
合計	70												